

ひとやねかわら版

ひとやねは「一つ屋根の下」という言葉に由来し、さまざまな人や物、ことが集まる場所を提供し続けます

08 秋号 2025



植田板金店BBQ大会



植田板金店BBQ大会[ひとやね]を開催しました
2025年8月23日(土) 17:30～20:00

年に一度のイベント、BBQ大会が開催されました!社員とその家族が集まり、交流を深める楽しい一日です。お肉を頬張りながらドリンクやお酒を楽しむ人、家族サービスに励む人、ついつい飲みすぎてペロペロになる人など、それぞれの過ごし方で盛り上がっていました。また、この日は偶然近くで打ち上げ花火が上がリ、ひとやね屋上からも鑑賞できました。子どもたちは「たまやー!」と大はしゃぎ。その後は手持ち花火でも遊び、夏の思い出が一層ふくらみました 🌸

今月の特集
・台風シーズン到来!
わが家と家族を守るために
今できる備えチェック

TOPICS

・防災フェス
・省エネEXPO

「香川」「福山・府中」初開催



防災フェス

見る×楽しい×学び

「防災フェス」は、災害から家族と住まいを守ることをテーマに開催され、幅広い世代の方が参加しました。当日は、子どもから大人まで楽しめるながら学べる多彩なプログラムが

用意され、会場は明るく活気に満ちていました。会場内では、防災に直結する講座や体験のほか、住まいの安全性を考えるきっかけとして、軽くて耐久性のある屋根材の展示も行われ、災害に強い住まいづくりへの関心を高める内容となっていました。

防災講座では、災害時の避難に必要となるアイテムや持ち出し袋の中身が紹介され、具体的にどのような準備をしておくか安心できるかが解説されました。

体験型の企画も人気を集めました。暗闇を非常灯や懐中電灯だけを頼りに進む「まっくらレスキュー迷路体験」では、実際の災害時に近い緊張感を体験でき、子どもたちは勇気を出して挑戦し、保護者と一緒に災害時の行動を考えるきっかけとなりました。また、工



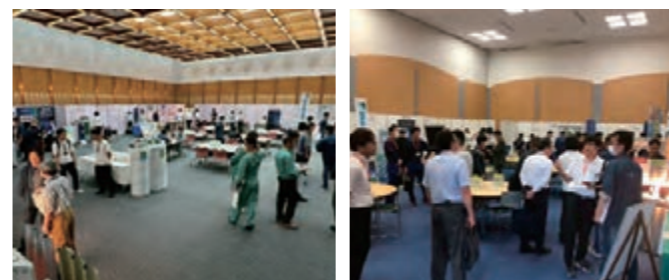
災害から家族と住まいを守るをテーマに必要な防災講座

作体験として行われた「エッチング教室」では、オリジナルのデザインを刻印できるプログラムが用意され、イベントに彩りを添えていました。

会場では、親子での参加も多く、家族と一緒に体験しながら防災について話し合う様子が見られました。こうした取り組みを通じて、防災フェスは、暮らしに役立つ知識を身につけられる有意義なイベントとなりました。

香川と福山・府中で初めて開催された「省エネEXPO」には、地元企業を中心に多くの方が来場し、会場は終日熱気と活気にあふれていました。展示ブースでは、最新の省エネ技術や設備、具体的な導入事例が紹介され、参加者は実際に製品に触れたり、専門家に直接質問したりすることで、学びを得ることができました。

遮熱に関するコーナーは、施工方法や材料の選び方などが詳しく解説され、参加者からは「自社でも導入できそう」「実際の施工手順がわかりやすい」といった具体的な感想が多く聞かれました。会場内では、展示やデモを通して、参加者それぞれが自社に取



▲福山・府中での開催の様子

▲香川での開催の様子

ひとやね
これからの予定

- ▼ 10月19日(日)／ひとやねマーケット
- ▼ 11月27日(木)／省エネEXPO in ひとやね“冬”
- ▼ 1月16(金)、17(土)、18(日)／ひとやねオープン2周年感謝祭



編集後記

防災グッズの見直しをした。災害で停電になると暗闇での避難や安全確保は難しく、夜間は家具や段差にぶつかる危険もある。そこで、大きくて扱いにくい懐中電灯ではなく、手のひらサイズの小型ライトを購入した。直径1.8cm、長さ8.9cm重さ20gと軽量で、三千元以下で手に入る。点滅機能もあり、SOS信号や注意喚起にも使える。光があるだけで安心感が増し、不安も和らぐだろう。

飲料水も欠かせない。家ではペットボトルのお茶を4本ストックしている。ひとり暮らしなので、1日1本弱で4日分の計算になる。すぐに飲めるし、お湯を沸かす手間もいらない。東日本大震災では水道が24日、ガスは34日止まった。復旧の長さを見ると、最低3日以上以上の水は必須だと実感する。まだ購入していないが、早めに揃えておきたいのが簡易トイレだ。被災者のアンケートでは、最も困ったものの上位に必ずトイレが入っており、災害時には欠かせない備えであることがわかる。停電や断水で水が使えないと排泄物の処理が難しく、衛生面で深刻な問題が生じる。簡易トイレを用意しておけば、衛生を保ちながら安心して過ごせる。折りたたみ式も凝固剤付きの袋タイプなど、収納性や使い勝手も工夫できるので、備蓄場所や家族構成に合わせて選ぼう。

災害はいつ起こるかわからない。だから日頃から備えておくことが大切だ。防災グッズは多ければ多いほど安心だが、まずは最低限必要なものを揃えることも忘れずに。備えあれば憂いなし。

ひとやねのことや、「ひとやねかわら版」に関するご意見、ご質問はこちらまでどうぞ! >>>>> hitoyane@uedabk.jp(かわら版担当者宛て)



https://hitoyane.shop



https://hitoyane-cw.com



https://uedabk.jp



https://tosouyasan.net



https://koyayasan.com



https://shaneyuyasan.com



台風シーズン到来

わが家と家族を守るために今できる備えチェック

岡山は「台風の直撃が少ない」と思われがちですが、実際には線状降水帯や大雨災害(2018年西日本豪雨など)の経験があり、防災意識は高めるべき地域です。

1. 備える(台風接近 2~3日前)

ハザードマップを再確認

自宅は低地?高台?
氾濫しそうな川は?



備蓄・防災グッズの再点検

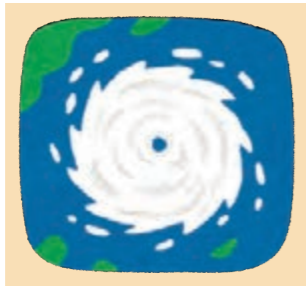
水・食料(最低3日分)、
懐中電灯、携帯ラジオなど



2. 動く(台風接近 1日前)

最新情報にアンテナを!

気象庁の防災アプリ、
テレビのdボタンなどで
情報を確認



避難指示が出たら直ぐ行動!

お年寄りや小さな子供のいる家庭は
特に早めに



3. 命を守る(最接近)

外出NG!

車移動は危険。
大雨で道路が陥没していることも。

2階以上へ
垂直避難

迷い・過信は命取り



屋根・外回りチェックリスト

▼屋根

- ☐ 瓦のひび・割れ・ズレ
→ 飛散の恐れ
- ☐ 棟板金の浮き・ぐらつき
→ 二次被害の危険
- ☐ アンテナの固定確認
- ☐ トタン・波板屋根のビス緩み

▼外壁・ベランダ・窓

- ☐ 外壁のひび・腐食
- ☐ 雨戸・シャッターの動作チェック
- ☐ 植木鉢・物干し竿は屋内へ
- ☐ 窓ガラスの飛散防止
(養生テープ・カーテン)

▼庭・塀まわり

- ☐ ブロック塀のひび・ぐらつき
- ☐ 側溝・排水溝の掃除
- ☐ 庭木に支柱を立てる
- ☐ 自転車・工具など
飛散物は屋内へ

危険なので
プロに点検を!



台風や集中豪雨の後に多いトラブルの多くは、「屋根・外壁まわりの備え不足」が原因です

時間と心に余裕をもって備えを!
住まいの“屋根”は家族を守る盾です

お問い合わせ

屋根やさん

ナンバーワン ヤ ネ ヤ サン

☎0120-01-8283